

【授業改善推進プラン 3年 国語】

<p>児童の状況</p>	<p>【全体】 ○「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」のそれぞれの観点における学力について、個人差が大きい。</p> <p>【話す・聞く】 ○自分の考えを伝えることに意欲的な児童とそうでない児童がいる。 ○正しく話の内容を聞き取ることに課題がある児童がいる。</p> <p>【読む】 ○文章を読み解く力に個人差がある。</p> <p>【書く】 ○主語・述語を整えて簡単な文章を書くことに課題や苦手意識がある児童がいる。 ○漢字を正しく読んだり書いたりする技能に課題がある児童が多い。</p>
<p>指導についての課題</p>	<p>【全体】 ○個に応じた指導の充実を図る必要がある。 ○一人一人の学習意欲をさらに向上させる必要がある。</p> <p>【話す・聞く】 ○話したり、聞いたりする等、表現力を身に付けさせる必要がある。</p> <p>【読む】【書く】 ○漢字の読み書き等、基礎的な技能を定着させる必要がある。</p>
<p>授業改善にむけての具体的方策</p>	<p>【全体】 ○単元を見通した学習計画を立てるとともに、学習内容の理解が定着するように定期的に復習の時間を設ける。 ○ノートやワークシート、タブレットなど、児童にとって適切な学習材を使用できるようにする。</p> <p>【話す・聞く】 ○授業内において、ペアで話したり、聞いたりする場면을意図的に設定し、自分の考えが伝わっているかどうか相手の意見を理解することができたかを確認する時間を設ける。</p> <p>【読む】【書く】 ○音読や漢字等について、繰り返し取り組んだり漢字の小テストによって知識を定着できるようにする。</p>
<p>読み解く力の育成</p>	<p>【読む】 ○教科書等を音読することによって、漢字の読みや内容理解に図る。 ○国語辞典を身近な場所に置き、いつでも言葉の意味を自ら調べる習慣を付ける。 ○文章中の主語・述語等を確認する場면을積極的に取り入れる。 ○家庭学習も含め、音読をしっかりとさせる。</p> <p>【書く】 ○共書きでめあてを書くようにする。</p>

【授業改善推進プラン 3年 社会】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」のそれぞれの観点における学力について、個人差が大きい。 ○校外学習など、体験的な活動に大変意欲的に取り組む。 ○地図記号など、新しい知識を得ることに對して意欲的な児童が多い。 ○教科書や資料を読み比べ、気付きや疑問をもつことができる児童が多い。 ○調べた情報を整理してまとめることに課題がある児童が一定数いる。
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○個に応じた指導の充実を図る必要がある。 ○一人一人の学習意欲をさらに向上させる必要がある。 ○学習内容や調べた情報を整理してまとめる際に、必要な情報が抜けないように指導する。
<p>授業改善にむけての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ノートやワークシート、タブレットなど、児童にとって適切な学習教材を使用できるようにする。 ○体験的な活動を積極的に取り入れる。 ○調べた情報を整理してまとめる場面において、スモールステップで丁寧に指導する。
<p>読み解く力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書等を自力で読む場面を設定する。 ○共書きでめあてを書くようにする。 ○資料から読み取ったことを文章やイラスト、図などにまとめる活動を積極的に取り入れる。 ○友達と意見を交流する場面を設定し、自分の考えと比べて視野を広げていけるようにする。

【授業改善推進プラン 3年 算数】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○学習意欲の個人差が大きい。 ○基礎学力の定着度にかなり差が見られる。 ○新しい問題を解く際、どのように解けばよいかということを十分に身に付けている児童が少ない。 ○自分が考えた解き方を分かりやすく全員に説明する力が不十分である。
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○授業のゴールが明確になるように、授業始めの「めあて」を常に工夫する必要がある。また、振り返りにおいて、「分かったこと」「難しかったこと」など振り返る視点が示されていないことがある。 ○問題を解くための考えが浮かぶように、指導の工夫が更に必要である。 ○解けずに困っている児童に対しての支援方法を更に研究する必要がある。 ○児童の発言力（特に対話的な話し合いの仕方）を高めるための具体的手だてを更に増やす必要がある。
<p>授業改善にむけての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○授業のゴールがよく分かるよう、「めあて」の文言を工夫する。 ○電子黒板や書画カメラを活用し、児童の興味・関心を高める。 ○解決法を考えさせる前に、必要に応じて解くための見通しをもたせる。 ○ノートのかき方・発問や解法でよいものを取り上げ全体に示すことにより、グループ全体の表現力・思考力の底上げを図る。 ○児童が解決法を説明する際、必要に応じて指導者が補助をする。また、価値のある発言や質問を取り上げ、よい点を具体的に示す。 ○視点を明確に示すなどして、振り返りをより充実させる。
<p>読み解く力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○文章題の内容を確実に理解させるために、「わかっていること」「聞かれていること」に線を引かせ全体で確認する。また、必要に応じて数直線や線分図、絵、具体物などを利用し、文章題理解の一助とする。 ○問題を一人一人が考えた後、解決法をかいたノートを児童同士で読み合う時間を設け、他の児童が考えた解決法を読み取る力を伸ばす。 ○解き方を発表する際、初めに児童の解き方を書画カメラに写す。そして、どのように解決したのか考える時間を設け、図や表・式などから解き方を読み取る力を伸ばす。 ○定義となる語彙が新たに登場した際、ノートに記述させ全員で読ませたり、当てはまる具体例を考えさせたりすることにより、新しい語彙を確実に定着させる。

【授業改善推進プラン 3年 理科】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」のそれぞれの観点における学力について、個人差が大きい。 ○生き物や植物に関する興味関心が高い児童が多い。 ○実験や観察など、活動を好む児童が多い。 ○実験結果や観察の様子を記録する際には、事実や観点に基づいて正確に記録することが苦手な児童がいる。 ○理科における問題解決型の学習スタイルに慣れていない。
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○個に応じた指導の充実を図る必要がある。 ○一人一人の学習意欲をさらに向上させる必要がある。 ○事実や観点に基づいて粘り強く正確に記録する指導を工夫する必要がある。 ○問題解決型の学習スタイルの定着を図っていく必要がある。
<p>授業改善にむけての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ノートやワークシート、タブレットなど、児童にとって適切な学習材を使用できるようにする。 ○体験的な活動を積極的に取り入れる。 ○問題解決型の学習過程におけるそれぞれの学び方について、丁寧に指導する。
<p>読み解く力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書等を自力で読む場面を設定する。 ○共書きでめあてを書くようにする。 ○資料から読み取ったことを文章やイラスト、図などにまとめる活動を積極的に取り入れる。 ○友達と意見を交流する場面を設定し、自分の考えを比べて、同義か異議か判断できるようにする

【授業改善推進プラン 3年 図工】

<p>児童の状況</p>	<p>○多くの児童が図工全般に関心を示し、平面・立会問わず意欲を持って活動をしているが、表現の深まりの点では気持ちがついて行けていない児童がいる。</p> <p>○2年の時に比べ、考え・表現に成長がはっきり見られる。周りに流されない人間関係ができつつある。</p> <p>○アイデアについては、まねをし合っって安心することはほぼなく、各自が考えた表し方を大切にする土壌が育ってきた。</p>
<p>指導について の課題</p>	<p>○意欲の持続が難しい児童がいるので、授業3回くらいの積み重ねで仕上げる題材は、意欲を切らせない工夫が必要。</p> <p>○発想に広がりがある学年なので、題材のねらいからはずれない範囲で、一人一人のアイデアに応える余裕のある指導・判断。</p> <p>○表現することにためらいがちな児童への適切な支援を模索中。</p> <p>○図工が苦手、関心が低い児童がいることを意識した題材設定。</p>
<p>授業改善に むけての 具体的方策</p>	<p>○授業3回くらいの時間で仕上げる題材は、各工程で使用する画材・用具を変えるなどして、各回新鮮さが感じられるようにし、意欲を落とさない工夫を落とさない工夫を組み込む。</p> <p>○想定外の材料・表し方を受け止められるように、題材を柔軟に微調整する。また、そのための素材・用具を幅広く準備しておく。</p> <p>○ねらいを明確化し、それを児童が理解できた後の自由な表現を保証する。</p> <p>○動く・光る・音が鳴るなど、完成した後楽しめる要素や共同制作など活動形態の工夫を盛り込んだ題材を開発する。</p>
<p>読み解く力の 育成</p>	

【授業改善推進プラン 3年 音楽】

児童の状況	<p>○学習に対する意欲は高いが授業規律はあまり守れていない。</p> <p>○お互いを認め合う雰囲気があり、安心して表現活動ができている。</p> <p>○自分の考えや友達の意見を取り入れながら、主体的・協働的に学んでいる。</p>
指導についての課題	<p>○安心して表現できる環境を保ちながら、緊張感をもって取り組む学習についての言葉掛けや指導技術が必要である。</p> <p>○学習の技能の定着に遅れがある児童に対しての補習にかかる時間が十分ではない。</p>
授業改善にむけての具体的方策	<p>○授業のながれで、切り替えポイントを教師が示し、具体的に理解しやすくする。</p> <p>○児童の実態に応じた教材解釈を行うと共に、授業内で習得できない技能は、タブレットに動画を投稿して自主練習ができるようにする。</p> <p>○掲示物などを用いて、授業中のマナーやルールを明確化し、授業規律の改善を図る。</p>
読み解く力の育成	

【授業改善推進プラン 3年 体育】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○運動することを好意的に捉えている児童が多い。 ○準備や片付けなどに対して、安全に配慮し、協力して行うことができる児童が多い。 ○新しい運動に対して、粘り強く取り組む児童が多い。 ○運動能力に個人差があり動きがぎこちない児童がいる。
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○運動の特性に応じた楽しさを十分味あわせる必要がある。 ○課題解決的な学習過程を工夫する必要がある。 ○個に応じた指導の充実を図る必要がある。
<p>授業改善にむけての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○集団行動等の指導改善を図り、学習規律を整える。 ○どの児童も運動の特性に応じた楽しさを味わえるように、易しい場や規則を工夫する。 ○課題をしっかりとったり、課題に対して振り返ったりできるように、めあてを明示するとともに、振り返りの時間を確保する。
<p>読み解く力の育成</p>	

【授業改善推進プラン 3年 総合的な学習の時間】

児童の状況	<ul style="list-style-type: none">○意欲的に学習に取り組もうとしている児童が多い。○ICTを積極的に使おうとする児童が多い。○他教科と関連付けて学習することができる。
指導についての課題	<ul style="list-style-type: none">○よりよい探究的な学習の在り方について検討していく必要がある。○学習内容に応じて、適切な地域人材等を活用していく必要がある。○児童一人一人の興味・関心に沿った学習方法を、可能な限り用意する必要がある。
授業改善にむけての具体的方策	<ul style="list-style-type: none">○児童の興味関心をリサーチして、単元計画を組むようにする。○地域資源を見直し、どの場面で活用できるか検討する。○学年合同授業の実施など、効果的な指導法を検討していく。
読み解く力の育成	

【授業改善推進プラン 3年 外国語活動】

児童の状況	<ul style="list-style-type: none">○外国語の発音を繰り返したり、ゲームをしたりして、外国語活動に意欲的に取り組んでいる。○学んだ表現を使って、進んで友だちとコミュニケーションを取ろうとする児童が多い。一方で、外国語を使うことに抵抗があり、日本語でやりとりをしようとする児童もいる。
指導についての課題	<ul style="list-style-type: none">○どの児童も外国語に親しみ、進んでコミュニケーションを取ることができるような学習内容を工夫する必要がある。○ALTとの事前打ち合わせの時間を十分に確保し、役割分担を確認した上で毎時間の指導にあたる必要がある。
授業改善にむけての具体的方策	<ul style="list-style-type: none">○授業の中で、基本的な英語表現を繰り返し発音できる場面を設定する。○歌やゲーム等の活動を繰り返し取り入れ、楽しんで外国語に慣れ親しむことができるようにする。○電子黒板やデジタル教科書、絵カードやジェスチャーなどを活用し、視覚に訴えることで児童の理解や意欲を促進する。
読み解く力の育成	<ul style="list-style-type: none">○目的・場面、状況に合わせて自分の伝えたい内容や表現に慣れ親しむ時間を確保する。○自分の考えと友だちの考えを比べるために、友達と意見を交流する場面を意図的に設定する。

【授業改善推進プラン 3年 特別の教科 道徳】

児童の状況	<ul style="list-style-type: none">○教科書等を用いた読み物教材を活用する際には、登場人物の心情の変化を自分自身の経験と照らし合わせながら考えることができる児童が多い。○自分の考えを積極的に伝える児童がいる一方で、そうでない児童もいる。
指導についての課題	<ul style="list-style-type: none">○道徳的価値について、児童が自分事として捉え、真剣に学ぶ指導を工夫する必要がある。○授業内で自分の考えを言えるようにしていく手だてが必要である。
授業改善にむけての具体的方策	<ul style="list-style-type: none">○教科書や副教材、他の教材等、多様な資料を選択する。○ペアや小集団、学級全体など、多様な話し合いの方法を取り入れる。○みんな違ってみんないいという学級の雰囲気、道徳だけでなくすべての科学学習の中で築いていく。
読み解く力の育成	<ul style="list-style-type: none">○物語の登場人物の気持ちや設定の理解が進むように、児童の経験に寄せて考えられるようにする。